

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	2020年9月14日
【四半期会計期間】	第74期第3四半期（自 2020年5月1日 至 2020年7月31日）
【会社名】	ナトコ株式会社
【英訳名】	NATOCO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 粕谷 健次
【本店の所在の場所】	愛知県みよし市打越町生賀山18番地
【電話番号】	(0561)32-2285(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 山本 豊
【最寄りの連絡場所】	愛知県みよし市打越町生賀山18番地
【電話番号】	(0561)32-2285(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 山本 豊
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第73期 第3四半期連結 累計期間	第74期 第3四半期連結 累計期間	第73期
会計期間	自 2018年11月1日 至 2019年7月31日	自 2019年11月1日 至 2020年7月31日	自 2018年11月1日 至 2019年10月31日
売上高 (千円)	13,176,785	11,913,261	17,701,409
経常利益 (千円)	1,072,871	922,253	1,519,726
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	676,854	623,386	978,487
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	631,561	463,111	933,399
純資産額 (千円)	18,067,376	18,530,586	18,369,214
総資産額 (千円)	23,219,572	23,690,151	23,912,808
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	89.73	82.64	129.71
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	77.8	78.2	76.8

回次	第73期 第3四半期 連結会計期間	第74期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年5月1日 至 2019年7月31日	自 2020年5月1日 至 2020年7月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	23.15	28.68

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて、以下の追加すべき事項が生じております。

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴うリスク)

新型コロナウイルス感染症の拡大は、世界的な規模で感染者が増加し、社会経済活動に大きな影響を及ぼしております。当該感染症の影響により、当社グループにおいても、顧客であるメーカーの生産停止、あるいは、縮小に伴う製品供給減、原料メーカーからの原材料調達難による生産停止、当社グループ社員に感染者が発生した場合における工場の操業停止などの事象等により、円滑な事業推進を行うことが困難になった場合には、当社グループの財政状態及び経営成績に重大な影響を及ぼす可能性があります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間(2019年11月1日～2020年7月31日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響を受け、世界各国の経済活動が大幅に縮小し、景気は急速に悪化しました。また、わが国経済も世界経済と同様、経済活動の落ち込みにより、極めて厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関する各国政府や各自治体の要請を遵守しつつ、独自性のある高機能性製品や環境対応型製品の開発を行うとともに、販路拡大に向け国内外で営業活動を推進してまいりましたが、市況悪化の影響が大きくなり、売上・利益ともに低調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,913百万円(前年同期比9.6%減)、営業利益は923百万円(前年同期比15.1%減)、経常利益922百万円(前年同期比14.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益623百万円(前年同期比7.9%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

塗料事業

金属用塗料分野では、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、全般的に塗料出荷量は低調となり、建材用塗料分野でも、新設住宅着工戸数の減少に伴い需要が落ち込み、売上高、セグメント利益は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、塗料事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は7,216百万円(前年同期比11.7%減)、セグメント利益は795百万円(前年同期比12.1%減)となりました。

ファインケミカル事業

中国でモバイル関連向けのコーティング材の受注が増加したことと光学フィルム向けコーティング材が堅調に推移したことで、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。セグメント利益につきましては、売上原価の増加により前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、ファインケミカル事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は1,781百万円(前年同期比2.5%増)、セグメント利益は369百万円(前年同期比17.4%減)となりました。

シンナー事業

有限会社アイシー産業において台風19号の浸水被害により1ヶ月半生産停止となったことや、既存ユーザーの生産活動の停滞により販売量が減少したため、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。セグメント利益につきましては、原油価格下落による原材料価格の値下りや山口工場の減価償却費負担の軽減により前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、シンナー事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は2,914百万円(前年同期比10.7%減)、セグメント利益は211百万円(前年同期比12.0%増)となりました。

当第3四半期連結会計期間末における総資産は23,690百万円となり、前連結会計年度末に比べ222百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が180百万円、前渡金が255百万円、有形固定資産が264百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が797百万円、投資有価証券が122百万円減少したことによるものであります。

負債は5,159百万円となり、前連結会計年度末に比べ384百万円減少いたしました。これは主にその他流動負債が475百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が447百万円、未払法人税等が284百万円、賞与引当金が126百万円減少したことによるものであります。

純資産は18,530百万円となり、前連結会計年度末に比べ161百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を623百万円計上した一方で、配当金の支払301百万円があったこと、その他有価証券評価差額金が92百万円、為替換算調整勘定が69百万円減少したことによるものであります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は618百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	26,299,000
計	26,299,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年7月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年9月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,144,400	8,144,400	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	8,144,400	8,144,400	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年5月1日 ~ 2020年7月31日	-	8,144,400	-	1,626,340	-	3,316,538

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年4月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年7月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 600,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,542,200	75,422	-
単元未満株式	普通株式 1,300	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	8,144,400	-	-
総株主の議決権	-	75,422	-

- (注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数10個が含まれております。
2. 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式が23株含まれております。

【自己株式等】

2020年7月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
ナトコ株式会社	愛知県みよし市打越町 生賀山18番地	600,900	-	600,900	7.38
計	-	600,900	-	600,900	7.38

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年5月1日から2020年7月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年11月1日から2020年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,525,609	7,706,430
受取手形及び売掛金	5,464,403	4,666,631
電子記録債権	310,634	322,703
有価証券	1,200,000	1,200,000
商品及び製品	1,032,988	1,009,178
仕掛品	34,160	39,147
原材料及び貯蔵品	624,171	601,737
前渡金	221,513	477,024
その他	878,928	940,389
貸倒引当金	5,539	4,761
流動資産合計	17,286,870	16,958,482
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,663,589	2,606,899
機械装置及び運搬具(純額)	1,082,801	1,030,985
土地	1,737,249	1,743,380
その他(純額)	295,729	662,189
有形固定資産合計	5,779,369	6,043,454
無形固定資産		
	164,280	157,175
投資その他の資産		
投資有価証券	448,672	326,448
繰延税金資産	68,071	36,321
その他	169,018	173,207
貸倒引当金	3,475	4,937
投資その他の資産合計	682,287	531,039
固定資産合計	6,625,938	6,731,669
資産合計	23,912,808	23,690,151
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,074,299	2,627,221
電子記録債務	15,478	20,171
未払法人税等	323,722	38,756
賞与引当金	257,202	130,677
役員賞与引当金	36,300	25,425
その他	1,137,305	1,612,585
流動負債合計	4,844,307	4,454,837
固定負債		
繰延税金負債	9,617	6,317
役員退職慰労引当金	323,455	338,087
退職給付に係る負債	149,727	139,773
その他	216,487	220,547
固定負債合計	699,286	704,726
負債合計	5,543,594	5,159,564

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	3,316,538	3,316,538
利益剰余金	13,368,783	13,690,430
自己株式	516,255	516,255
株主資本合計	17,795,406	18,117,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	179,038	86,648
為替換算調整勘定	405,728	336,151
退職給付に係る調整累計額	10,959	9,266
その他の包括利益累計額合計	573,807	413,533
非支配株主持分	-	-
純資産合計	18,369,214	18,530,586
負債純資産合計	23,912,808	23,690,151

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)
売上高	13,176,785	11,913,261
売上原価	9,926,916	8,938,638
売上総利益	3,249,869	2,974,623
販売費及び一般管理費	2,162,096	2,051,399
営業利益	1,087,772	923,223
営業外収益		
受取利息	2,777	4,229
受取配当金	12,242	12,757
物品売却益	15,784	10,335
その他	13,156	22,034
営業外収益合計	43,961	49,357
営業外費用		
支払利息	11	2
売上割引	8,654	7,915
為替差損	49,670	42,233
その他	526	176
営業外費用合計	58,862	50,327
経常利益	1,072,871	922,253
特別利益		
固定資産売却益	68	179
補助金収入	-	19,144
受取保険金	-	6,807
特別利益合計	68	26,130
特別損失		
固定資産処分損	15,109	8,767
固定資産圧縮損	-	23,154
災害による損失	-	11,533
特別損失合計	15,109	43,455
税金等調整前四半期純利益	1,057,831	904,929
法人税、住民税及び事業税	325,918	221,825
法人税等調整額	55,058	59,717
法人税等合計	380,977	281,543
四半期純利益	676,854	623,386
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	676,854	623,386

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)
四半期純利益	676,854	623,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,921	92,390
為替換算調整勘定	38,022	69,577
退職給付に係る調整額	2,651	1,693
その他の包括利益合計	45,292	160,274
四半期包括利益	631,561	463,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	631,561	463,111
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大による影響については、今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にありますが、当社グループは翌連結会計年度より徐々に収束に向かうものと仮定して、繰延税金資産の回収可能性等に係る会計上の見積りを行っております。

また、新型コロナウイルスの感染症拡大による影響は不確実性が高く、今後の経過によっては、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)
減価償却費	451,597千円	443,935千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年1月29日 定時株主総会	普通株式	150,869	20	2018年10月31日	2019年1月30日	利益剰余金
2019年6月4日 取締役会	普通株式	135,782	18	2019年4月30日	2019年7月8日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの
 該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年1月28日 定時株主総会	普通株式	165,956	22	2019年10月31日	2020年1月29日	利益剰余金
2020年6月12日 取締役会	普通株式	135,782	18	2020年4月30日	2020年7月7日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの
 該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー事 業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	8,174,013	1,737,938	3,264,834	13,176,785	-	13,176,785
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,771	7,995	239,585	256,352	256,352	-
計	8,182,784	1,745,934	3,504,419	13,433,138	256,352	13,176,785
セグメント利益	905,474	447,160	188,517	1,541,152	453,379	1,087,772

(注)1. セグメント利益の調整額 453,379千円は、セグメント間取引消去20,712千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 474,092千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに所属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー事 業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	7,216,799	1,781,726	2,914,736	11,913,261	-	11,913,261
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,716	-	177,872	186,589	186,589	-
計	7,225,516	1,781,726	3,092,608	12,099,851	186,589	11,913,261
セグメント利益	795,566	369,295	211,169	1,376,032	452,808	923,223

(注)1. セグメント利益の調整額 452,808千円は、セグメント間取引消去18,042千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 470,850千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに所属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(金融商品関係)

金融商品の当第3四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の当第3四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)
1株当たり四半期純利益金額	89円73銭	82円64銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	676,854	623,386
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	676,854	623,386
普通株式の期中平均株式数(株)	7,543,477	7,543,477

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2020年6月12日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 配当金の総額 135,782千円
- (ロ) 1株当たりの金額 18円00銭
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 2020年7月7日

(注) 2020年4月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年9月14日

ナトコ株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岸田 好彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 浩幸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているナトコ株式会社の2019年11月1日から2020年10月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年5月1日から2020年7月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年11月1日から2020年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ナトコ株式会社及び連結子会社の2020年7月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。